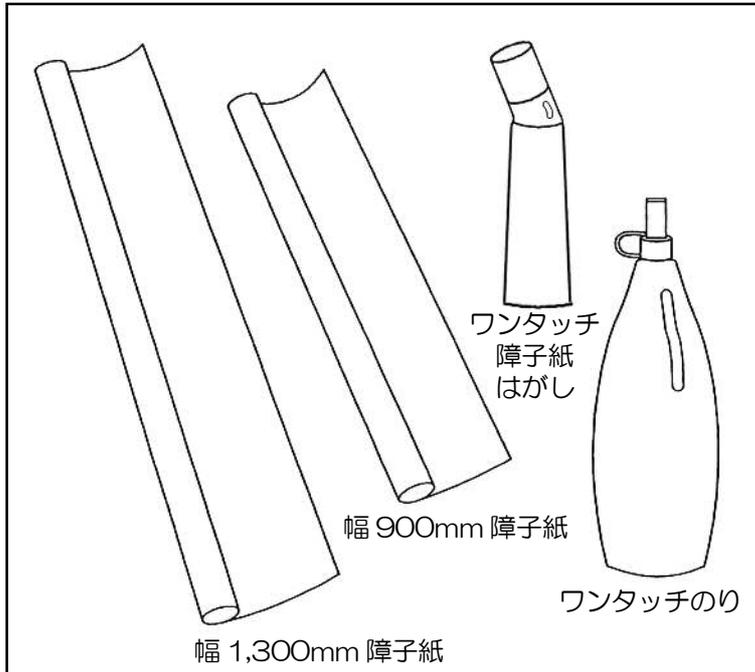


## ■商品名 障子張り替えセット

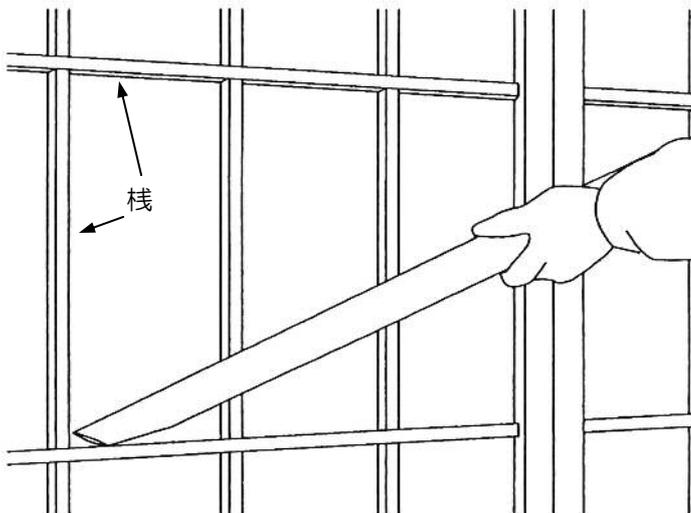
## ■セット内容



\*スポンジ・定規・カッター・セロハンテープをご用意ください。

## 【張り替え作業を始める前に】

- 古い障子紙をはがす前に、棧に積もったほこりやゴミを掃除機などで取り除いておきます。

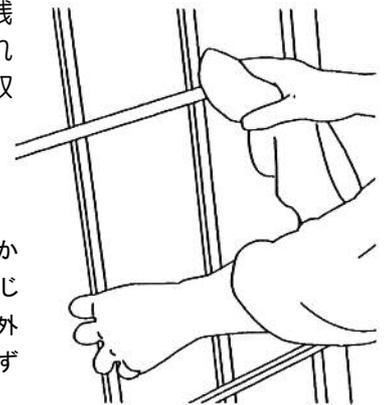
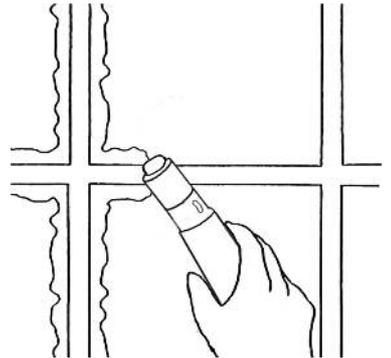


- 障子の両サイドを持ち上げてはずします。

※ 特殊な障子のはずし方については、裏面を参照してください。張り替え作業は屋内、屋外どちらでもできます。屋内で行う場合、畳が汚れないよう新聞紙などを下に敷きましょう。外で行う場合は、かまち(障子の枠)や棧に傷がつかないように、敷物やタオルなどで保護してください。

## 【古い障子紙のはがし方】

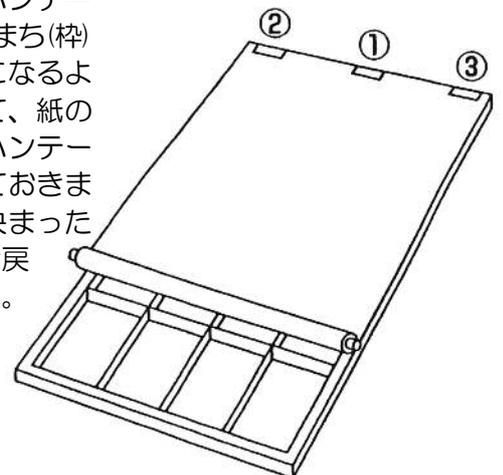
- キャップとスポンジキャップをはずし、中のパッキンを取ってからスポンジキャップを元に戻します。
- 障子紙はがし液で障子紙の上から棧を十分にぬらします。そのまま5分ほどおき、端からゆっくりはがしてください。
- 残ったのりやはがし残しがある場合は、ぬれ雑巾できれいにふき取り、乾かします。



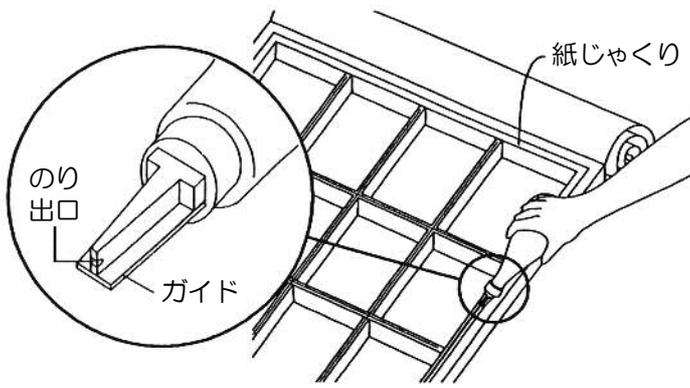
※ 障子を直射日光で乾かすと、棧にくるいが生じることがあります。屋外で乾かすときには必ず日陰に置いてください。

## 【新しい障子紙の貼り方】

- のりをつける前に、紙の位置を決めます。障子を床に寝かせ、その上に障子紙を広げます。貼り始めの紙の中心をセロハンテープで止め、かまち(枠)と紙が平行になるように調整して、紙の左右もセロハンテープで固定しておきます。位置が決まったら、紙は巻き戻してください。

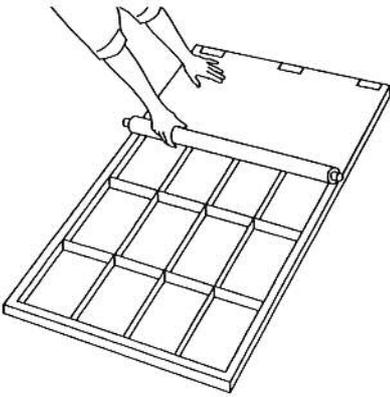


2



棧にのりをつけます。のりの出口を確かめ、ガイド部の先端を棧の角に合わせます。ガイド部をかまちや棧の側面に沿わせて、引くようにしてのりづけします。のりの量の目安は1~2mm。棧の重なり合った部分、かまちの紙じゃくり(一段低くなったのりしろ部分)は、のりの出口を直角に当てて、心持ち多めにのりづけしてください。

3

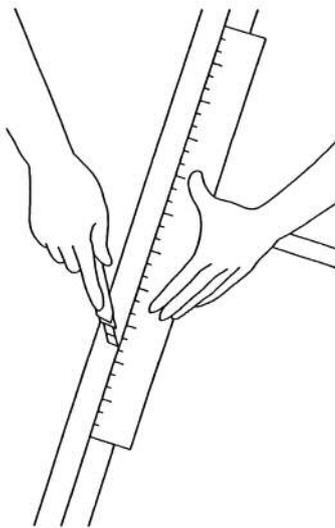


のりが乾ききらないうちに、巻き戻してある障子紙をゆっくり転がしながら、引っ張り加減に貼ります。棧の上を全体的に手で軽く押さえると、のりが均一に広がります。

4

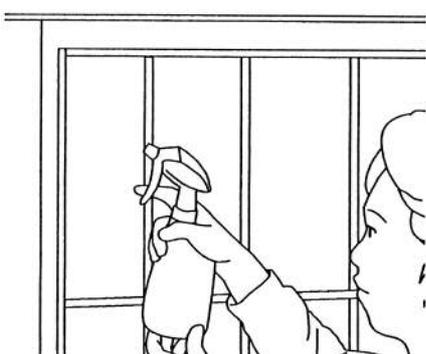
のりが半乾きになったら、紙じゃくりに沿って定規を当て、カッターで余分な障子紙を切り落とします。カッターを垂直に立てると、きれいに切れません。カッターは寝せて使いましょう。

※ のりが濡れた状態では切りにくく、完全に乾いてしまうと、切った障子紙がはがせなくなります。切る際は半乾きがポイントです。



5 貼り終わった障子を敷居に戻し、全体を見ます。しわやたるみがある場合は霧吹きで霧を吹きつけましょう。

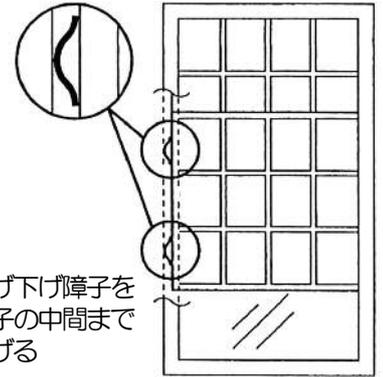
(乾くとピンと張ってきます)。しわが寄っていない部分には霧吹きの必要はありません。



## 【特殊な障子のはずし方】

### ●雪見障子についている上げ下げ障子

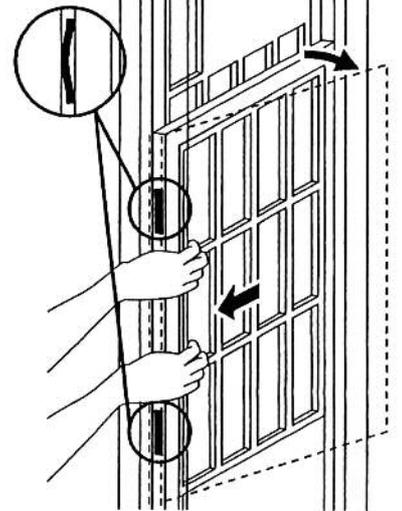
1 上げ下げ障子には、向かって左側(たて棧の溝に接する面)にわん曲した板バネが取り付けられています。まず、上げ下げ障子を障子の中間の位置まで上げます。



※ 溝は中間部分がいちばん深くなっているため、この位置が一番はずしやすくなっています。

2 左側のたて棧の上下を両手で左側に強く寄せます。こうすることで、板バネが押されて、上げ下げ障子が左側の溝に深く入り、右側の棧が溝からはずれて、前に出てきます。

上げ下げ障子を障子の中間まで強く寄せると、右側の棧が溝から外れる



### ●はめ殺し障子



敷居の障子をはずすときと同じように、障子の横棧を両手で持ち上げます。上部かまち(枠)が鴨居の溝に深く入り、下部かまちが浮いてはずれます。